

スムーズに

入社準備

ソフトウェア会社、コンピュータシステム開発(仙台市)が販売する企業の内定者向けサポートウェブシステム「ようこそ、はたらく準備はしめる君(くん)」がユーザーに好評だ。内定決定から入社までの期間、企業と内定者との緊密なコミュニケーションをサポートする仕組み。社会人生活への円滑な移行を学生や生徒に促せるため、新入社員早期離職の増加に悩む企業などから受注を伸ばしている。

生活習慣やマナー習得

2010年発売の「はしめる君」は内定決定の10月から翌年3月末まで6カ月間のカリキュラムで構成。元気サポート(宮城県七ヶ浜町)社長で社会保険労務士の伊藤祐子氏が監修した。内定者用ページと採用担当者ページがあり、ウェブ上で相互にやりとりができる。最初の3カ月は就職に向けた生活習慣づくりを主に支援。規則正しい生活を送ったかどうかなど20項目を4段階で自己評価し報告してもらう。入社後に書く業務日誌の訓練として「今日の一言日記」の欄を設け、日々の気付きや反省点を100文字以内で記入させる。後半の3カ月は、身だしなみや言葉遣いなどのマナーを身に付けるためのプログラムを用意した。

半年やりとり 企業に好評

内定者は入力した内容を週単位で閲覧可能で、自分の強みや弱みを確認できる。評価はポイント化され、採用担当者は内定者間の比較も容易だ。導入時費用は内定者10人までで15万円。社員20人程度の中小から700人規模の地方銀行まで、幅広い企業に採用されている。昨年度は優良なソフトウェアとして宮城県の「みやぎ認定IT商品」に指定された。

佐藤公幸社長は「中途退職者の増加を食い止めるため、社会人になる時のギャップを埋めたい」という企業のニーズは大きい。内定者向けに手厚いサポートができるシステムだ」と説明する。

ウェブで内定者支援 仙台のソフトウェア会社

最初の3カ月は就職に向けた生活習慣づくりを主に支援。規則正しい生活を送ったかどうかなど20項目を4段階で自己評価し報告してもらう。入社後に書く業務日誌の訓練として「今日の一言日記」の欄を設け、日々の気付きや反省点を100文字以内で記入させる。後半の3カ月は、身だしなみや言葉遣いなどのマナーを身に付けるためのプログラムを用意した。

はたらく準備の記録

3ヶ月の準備記録

分析結果を示す画面。他の内定者との比較ができる

内定者用の表紙画面

TOP

はたらく準備の記録

3ヶ月の準備記録

分析結果を示す画面。他の内定者との比較ができる